

# 国土地理院の災害対応

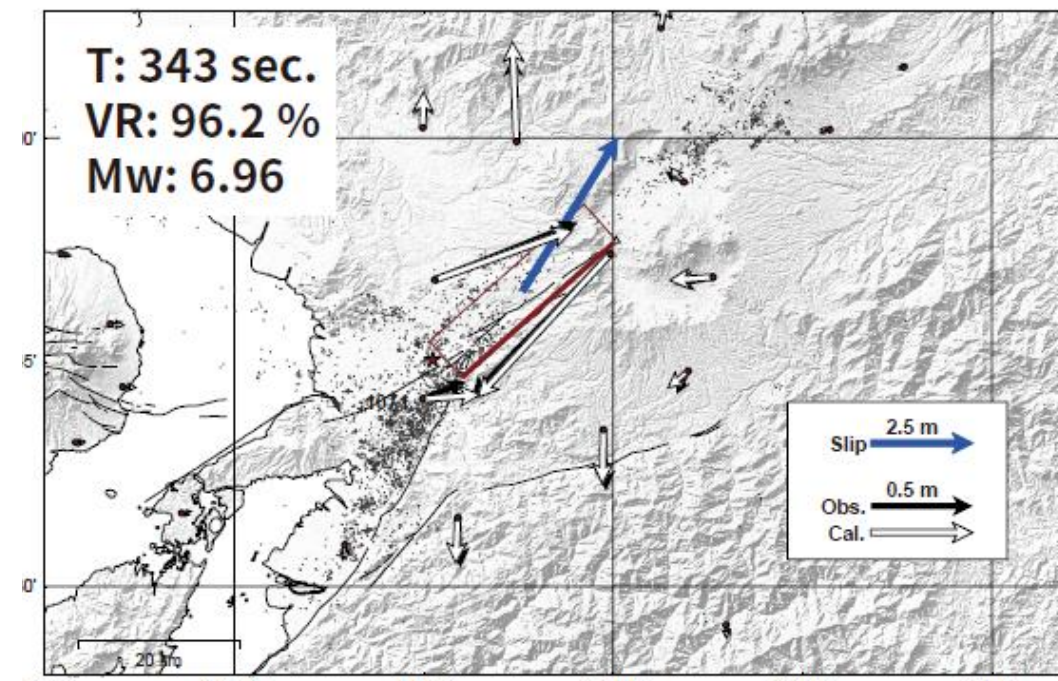
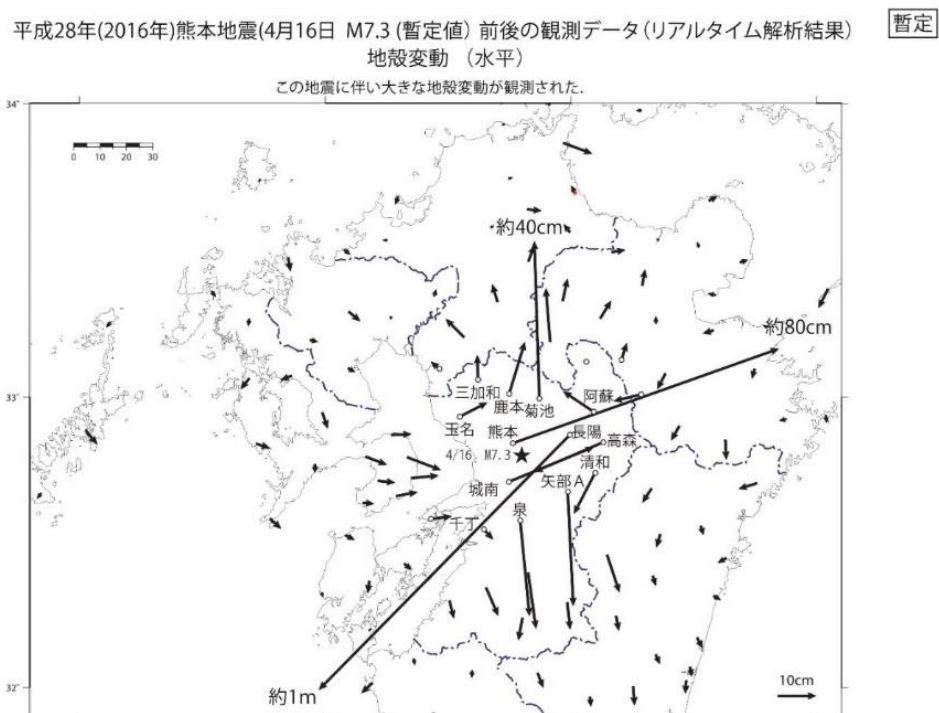
## 地球内部で起きている現象について調べます

### REGARD (電子基準点リアルタイム解析システム)

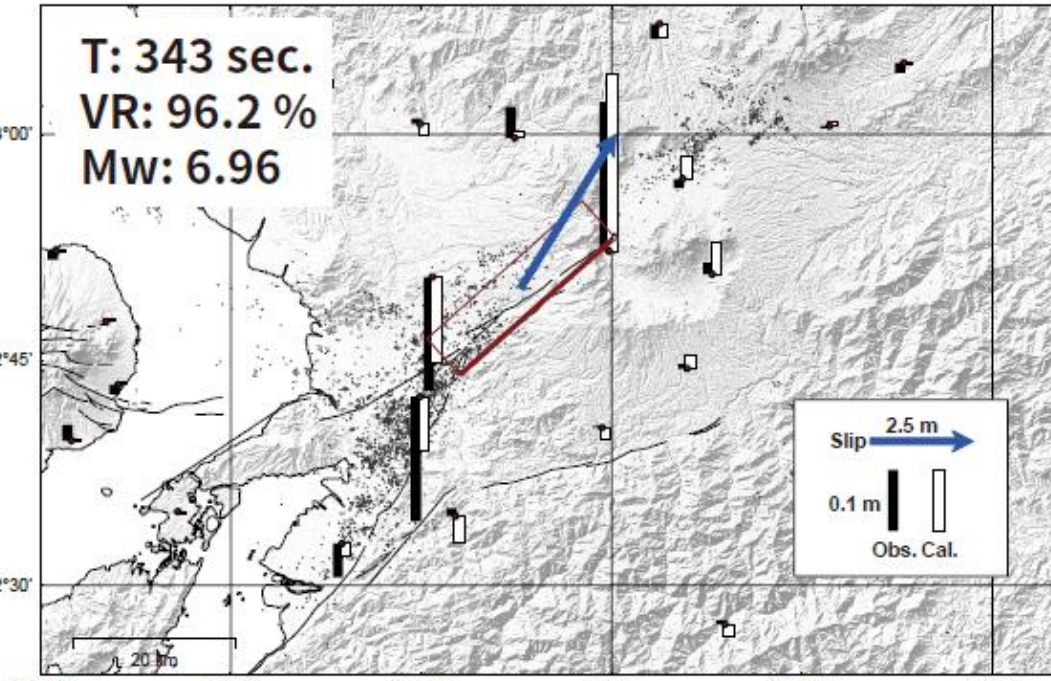
電子基準点データをリアルタイムで解析することにより、巨大地震発生から数分で地殻変動を把握し、地震規模を推定します。短時間で地震規模を推定しにくい巨大地震でも、早く正確に推定できることが特徴です。またREGARDの解析結果は津波による浸水被害の推計にも使用されています。

#### ■平成28年「熊本地震 (マグニチュード7.3)」

地震後約10分以内に推定したこと



断層モデルと水平変動量



断層モデルと上下変動量

- 地震規模を示すマグニチュードは7程度
- 1m程度の地殻変動が発生
- 地震を起こした断層は布田川断層帯の周辺

地殻変動の推定で、電子基準点「熊本」で東北東方向に約80cm、「長陽」で南西方向に約100cmの地殻変動を観測

## 大地震の地盤災害の推計を“すぐ”に“だし”ます

### SGDAS (地震時地盤災害推計装置)

地震発生後15分以内に、震度と地形等の地理的特性との関係から地盤災害(斜面災害・液状化)の発生可能性(発生地域と規模)を自動的に推計し、災害対応関係機関へ配信します。

